



BOSAI プロジェクト大作戦【保田小学校】

保田小学校6年生が「BOSAI プロジェクト大作戦～自分の幸せ・みんなの幸せ～」をテーマに防災学習に取り組みました。

6月以降、自治会の方々と一緒に「まちなか探検」を行い、避難施設や防災施設、危険箇所等を調べました。現地調査をもとに、みんなで意見を出し合いながら「BOSAI マップ」を作成しました。作成するなかで、保田小学校区のことを改めて発見・理解したり、防災に関する課題を見つけたりもしました。

また、有田市の防災安全課の方には、学校に備えられている防災用品や機器の取り扱い方を教えてもらったり、実際に、避難所用のパーテーションを組み立てたりしました。10月7日には、防災について今回学習した内容を地域の方に発表（オンライン）し、意見交流を行いました。



パーテーション組立

作成した「BOSAI マップ」は、現在、保田公民館と野みかんセンターに展示されています。

「BOSAI プロジェクト大作戦」では、地域で活躍されている様々な方々と連携することができ、子供たちの人間関係が豊かになりました。また、防災について、子供たちと地域の人が一緒に考える良い機会となりました。



調査のようす



「BOSAI マップ」



報告・交流会

子供たちの健やかな成長のために【有田市青少年指導員会】

有田市内には子供たちの健やかな成長を見守るため、様々な団体や個人が活動されています。

有田市青少年指導員会もその一つで、有田市教育委員会より委嘱された指導員が、8地区（初島、港町、箕島、宮崎、中央、保田、宮原、糸我）に59名、学校関係者として各校3名（校長、生徒指導主任、PTA 会長）が参加されています。有田市青少年指導員会では、関係団体等と連携しながら、夏休み中の地区パトロール、夏祭・花火大会の巡回指導、年間を通じての夜間パトロールや登下校時のパトロールなど、青少年の健全育成を図る様々な活動に取り組んでいます。

学校と地域が連携・協働し、未来を担う子供たちを育てよう